書式第１２号（法第２８条関係）

令和６年度　事業報告書

特定非営利活動法人国内産米粉促進ネットワーク

１ 事業の成果

特定非営利活動法人 国内産米粉促進ネットワーク（略称：米粉ねっと）は、本年度で 16 年目の活動を迎えました。

2024 年から 2025 年にかけて、私たちを取り巻く世界情勢は地政学的緊張と経済不安が交錯しています。ウクライナや中東の不安定な情勢に加え、米中関係の対立も続いており、各国は安全保障と経済政策の両立を模索しています。一方で、気候変動や AI 規制といった国際的課題への対応も急務となり、グローバルな連携の重要性が一層高まっています。

国内に目を向けると、2023 年から 2024 年にかけての酷暑などの影響により、米の収量が減少し、2025 年初頭には米価が前年比で約 2 倍に高騰、5kg あたり 4,000 円を超える事態となりました。政府は備蓄米の放出や輸入拡大で対応していますが、小売価格は依然として高水準にあります。

一方、米粉市場は国の支援もあり需要が拡大しています。農林水産省の推計によると、米粉用米の需要量は 2025 年度に約 6.2 万トンと過去最高を見込んでおり、パンやスイーツなどグルテンフリー製品への活用も広がっています。ただし、小麦粉に比べて製粉コストが高いことや、主食用米の高騰によって米粉用米の安定調達が懸念されるなど、今後の課題も多く残されています。

米と米粉はいずれも、価格や需給の面で注視が必要な状況が続いています。私たちには、食料自給率や食料安全保障の観点から、輸入小麦製品に代わる国産米粉のさらなる普及・定着を通じて、水田農業の維持・発展を図る取り組みが求められています。そのためにも、より多くの方々を巻き込んだ活動の展開が重要です。

（１）米粉の用途別基準の見直しにおける実態調査の実施内容

2017 年に「米粉用途別基準」が公表されてから 8 年が経過し、米粉に関する加工技術の向上や情報の周知が進んだことで、米粉の利用は着実に拡大しています。一方で、用途に応じた米粉の品質情報をより詳細に知りたいという要望が増えており、現行基準の見直しが求められています。

「米粉用途別基準」は、米粉の品質特性と適切な用途を明確にすることで、その利用拡大を支える重要な指針です。粒度、でんぷん損傷度、アミロース含有率、水分含有率などの基準を設定することで、適切な製品選定と使用が可能となり、製品品質の向上や新商品の開発にもつながります。

また、用途に応じた表記を導入することで、消費者にとっても選びやすさが向上します。

こうした背景を受け、2024年度には全国的に流通している米粉23点を購入し、そのうち主な用途別に分類された15商品について、理化学的分析（各商品5項目、計75項目）を実施しました。さらに、分析結果をもとに「機械製麺用」「米粉パン用」「スイーツ用」など、用途に応じた9商品を抽出し、各商品について5～19項目、合計約100項目の加工適性を把握しました。

今後は、これらの実態調査結果を基に、加工適性に関するさらなる分析を進めるとともに、農林水産省のご協力のもと「米粉の用途別基準および用途表記の検討委員会」を設置し、関連業者からの意見聴取を行いながら、より実用的で信頼性の高い基準の見直しに取り組んでまいります。

（２）「ご当地米粉めん倶楽部」発足への期待

近年、米粉麺の製造技術が向上し、ラーメン、焼きそば、うどん、そば風味の麺、各種パスタ、アジアのフォーやビーフンなど、さまざまな加工が可能となっています。これにより、乾麺、生麺、インスタント麺、カップ麺など、多様な商品展開が実現しています。

一方で、米粉麺のさらなる普及に向けては、いくつかの課題が残されています。

まず、米粉麺の認知度向上が必要です。多くの消費者がその存在や利点を十分に理解していないため、米粉麺の美味しさや、健康・環境面でのメリットを広く発信していくことが求められています。米粉麺はグルテンフリーで、食物アレルギーをお持ちの方にも安心して召し上がっていただける食品であり、こうした特性を積極的に訴求することが重要です。

また、米粉麺の魅力をより高めるためには、新商品の開発も必要です。消費者ニーズに応じた新たな米粉麺商品の開発や、米粉麺ならではの食感や風味を活かしたレシピ提案を通じて、さらなる市場拡大が期待されます。

こうした背景のもと、「ご当地米粉めん倶楽部」は、地域の特産品である米粉を活用した個性豊かな米粉麺の発信や、新しい食べ方の提案を通じて、その魅力を広めることを目的としています。また、米粉の活用を通じて、地域農業の振興や食文化の発展にも貢献することを目指しています。

「ご当地米粉めん倶楽部」発足に向け、FABEX東京などの機会を活用し、関係事業者等から意見の聴取を行いました。その結果、倶楽部の発足に対して多くの期待の声が寄せられました。

（３）FABEX東京「米粉パビリオン」に「米粉ねっと」が参加

「米粉ねっと」は、FABEX東京「米粉パビリオン」に参加し、米粉に関する各種問い合わせに対応しました。特に、製粉機や加工技術、商品開発、今後の米粉ビジネス展開に関する関心が多く寄せられました。

また、「お米未来展2024 特別セミナー」では、「米粉ビジネスチャンス到来～米粉の最新情勢、製粉機、製品紹介～」をテーマに講演を行い、満席（80名）となる盛況ぶりからも、米粉への関心の高さがうかがえました。

また、「お米未来展 2024 特別セミナー」では、「米粉ビジネスチャンス到来～米粉の最新情勢、製粉機、製品紹介～」をテーマに講演を行い、満席（80名）となる盛況ぶりからも、米粉への関心の高さがうかがえました。今後も「米粉ねっと」として「米粉パビリオン」への継続的な参加を通じ、米粉の普及推進に努めてまいります。

書式第１２号（法第２８条関係）

（４）米粉関連の相談窓口・講演 実績報告

① 相談対応実績

米粉に関する相談窓口として、対面・メール・電話により、さまざまな問い合わせ・相談に対応しました。主な対応内容は以下のとおりです。

・大学生・大学院生からの相談対応

卒業論文・研究に関連する内容として、米粉の加工技術、流通実態、新規米粉の歴史などについての相談があり、メール・電話・対面にて丁寧に対応しました。

・書籍執筆に関する協力

米粉の開発経緯や歴史に関する書籍の執筆にあたり、著者からの依頼を受け、対面およびメールにて資料提供・情報提供を行いました。

② 講演実績

以下の講演を実施し、米粉に関する最新情報の発信と普及啓発に努めました。

・武蔵野市 消費者スクール・消費生活合同講座

演題：「進化する米粉の世界」

内容：米粉の最新事情や製品の多様性について紹介し、参加者から高い関心が寄せられました。

・九州農政局主催 米粉利用拡大セミナー

演題：「海外のグルテンフリー需要と輸出拡大の可能性」

内容：海外市場におけるグルテンフリー食品の需要動向や、国産米粉の輸出拡大の可能性について講演を行い、盛況のうちに終了しました。

③ 今後の展望

今後も引き続き、米粉に関する情報提供や講演活動、相談対応などを通じて、普及促進と理解の拡大に努めてまいります。

書式第１２号（法第２８条関係）

２ 事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【8,677】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
米粉の用途別基準の見直しに係る実態調査事業	米粉の用途別基準の見直し資するため全国的にる流通している米粉を購入し、分析等を行い実態を把握する。	７月から３月	全国	６人	全国	10000人	1，878
ホームページ運営管理費	事業実施など周知内容等の掲載をした。	随時	法人事務所	５人	全国の会員ほか	500人	175

（２）その他の事業
実施せず

事業報告用

６年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1 受取会費		1,185,000
正会員受取会費	935,000	
賛助会員受取会費	250,000	
2 受取寄附金		0
受取寄附金		
施設等受入評価益		
3 受取助成金等		0
受取補助金		
4 事業収益		3,300,000
米粉の用途別基準の見直しに係る実態調査事業	3,300,000	
5 その他の収益		327
受取利息	327	
経常収益計		4,485,327
【B】経常費用		
1 事業費		
（1）人件費		0
給料手当		
役員報酬		
退職給付費用		
福利厚生費		
（2）その他経費		2,054,751
米粉の用途別基準の見直しに係る実態調査事業	1,878,311	
支払手数料	1,540	
ホームページ運営管理費	174,900	
事業費計		2,054,751
2 管理費		
（1）人件費		0
役員報酬		
給料手当		
退職給付費用		
福利厚生費		
（2）その他経費		1,770,447
旅費交通費	22,652	
会議費	32,520	
機器リース料	742,760	
通信運搬費	158,340	
賃借料	660,000	
支払手数料	7,480	
消耗品費	14,713	
諸謝金	55,000	
諸会費	50,000	
雑費	26,982	
管理費計		1,770,447
経常費用計		3,825,198
当期経常増減額 【A】－【B】 ・・・①		660,129
【C】経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額 【C】－【D】 ・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+② ・・・③		660,129
法人税、住民税及び事業税 ・・・④	[redacted]	
前期繰越正味財産額 ・・・⑤		
次期繰越正味財産額 ③－④+⑤		660,129

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

6年度　貸借対照表

特定非営利活動法人国内産米粉促進ネットワーク

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】資産の部		
1 流動資産		2,435,075
現金預金	2,435,075	
未収金		
棚卸資産		
流動資産合計 ・・・①		2,435,075
2 固定資産		
（1）有形固定資産		0
車両運搬具		
什器備品		
（2）無形固定資産		0
ソフトウェア		
借地権		
（3）投資その他の資産		0
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計 ・・・②		0
【A】資産合計 ①+②		2,435,075
【B－1】負債の部		
1 流動負債		
未払金		21,555
預り金	21,555	
流動負債合計 ・・・③		21,555
2 固定負債		
長期借入金		0
退職給付引当金		
固定負債合計 ・・・④		0
負債合計 ③+④		21,555
【B－2】正味財産の部		
前期繰越正味財産額	1,753,391	
当期正味財産増減額	660,129	
正味財産合計		2,413,520
【B】負債及び正味財産合計 【B－1】＋【B－2】		2,435,075

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

6年度　財産目録

特定非営利活動法人

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1 流動資産			
現金預金			2,435,075
手元現金	50,005		
三菱UFJ銀行普通預金	2,384,759		
ゆうちょ吟行総合口座	311		
未収金			
棚卸資産			
流動資産合計　・・・①			2,435,075
2 固定資産			
（1）有形固定資産			
（2）無形固定資産			
（3）投資その他の資産			
固定資産合計　・・・②			
【A】資産合計　①+②			2,435,075
【B－1】負債の部			
1 流動負債			
未払金			
預り金			
源泉徴収税	21,555		
流動負債合計　・・・③			21,555
2 固定負債			
固定負債合計　・・・④			
【B－1】負債合計　③+④			
【B－2】正味財産合計　【A】－【B－1】			2,413,520

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

６年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人国内産米粉促進ネットワーク

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事・監事	ハギタサトシ 萩田　　敏		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
2	理事・監事	 高橋雅彦		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
3	理事・監事	ヨコタサチ 横田　祥		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
4	理事・監事	キクチジュンコ 菊地　順子		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
5	理事・監事	コタニアユミ 小谷　あゆみ		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
6	理事・監事	ナカムライヅミ 中村　いづみ		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
7	理事・監事	サトウマサシ 佐藤　正志		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
8	理事・監事	タカハシセンイチロウ 高橋　仙一郎		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
9	理事・監事	ツツミキミヒロ 堤公博		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
10	理事・監事	トミタタカヨシ 富田　孝好		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
11	（理事）・監事	マルヤマキヨアキ 丸山　清明		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
12	（理事）・監事	ムカイハタノブヒデ 向畑　宜秀		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
13	理事・（監事）	オリタヒロシ 折田　浩		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
14	理事・（監事）	アオキテルミツ 青木　輝光		令和6年4月１日 ～ 令和7年3月31日	令和　年　月　日 ～ 令和　年　月　日
15				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
16				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
17				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
18				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
19				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
20				年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　国内産米粉促進ネットワーク

	氏　　名	[redacted]
1	萩田　敏	
2	高橋雅彦	
3	横田　祥	
4	小谷　あゆみ	
5	菊地　順子	
6	中村　いづみ	
7	丸山清明	
8	折田浩	
9	富田　孝好	
10	高橋　仙一郎	
11	堤　　公博	